



開発途上国における
サステイナブル・カカオ・
プラットフォーム

開発途上国における サステイナブル・カカオ・プラットフォーム

児童労働撤廃に向けたセクター別アクション 賛同組織の取り組み状況レポート

2022 / 2023



取り組み状況に関する調査結果概要

児童労働分科会では、2022年9月に策定した「児童労働撤廃に向けたセクター別アクション」を踏まえ、賛同組織に対して各社の取り組み状況に関する調査を行い、本年次レポートを作成致しました。

回答状況

- 報告該当期間：2022年9月～2023年8月
- 「児童労働撤廃に向けたセクター別アクション」への賛同組織数：21
- 回答組織数：17 ※公表に同意した組織の組織名・組織ロゴを掲載

商社・加工業・メーカー・小売業（10）

- ・伊藤忠食糧株式会社
- ・江崎グリコ株式会社
- ・株式会社コンフィテラ
- ・バリー・カレボー・ジャパン株式会社
- ・不二製油グループ本社株式会社
- ・明治ホールディングス株式会社
- ・森永製菓株式会社
- ・有楽製菓株式会社
- ・株式会社ロッテ

NGO・ナレッジ機関・認証機関（6）

- ・認定NPO法人ACE
- ・株式会社オウルズコンサルティンググループ
- ・デロイト・トーマツ コンサルティング合同会社
- ・日本チョコレート・ココア協会
- ・認定NPO法人フェアトレード・ラベル・ジャパン
- ・レインフォレスト・アライアンス

政府・政府機関（1）

- ・独立行政法人国際協力機構（JICA）



児童労働撤廃に向けたセクター別アクションの概要

コレクティブ・インパクトによる児童労働のないカカオのサプライチェーンの実現を目的に設立された児童労働分科会では、各ステークホルダーに期待される具体的な行動を示した「児童労働撤廃に向けたセクター別アクション（以下、セクター別アクション）」を策定しました。

会員による、あるいは、会員同士の協働によるアクションの実践を通じて、カカオ産業における児童労働撤廃に向けた取組の加速、拡大を推進し、「2025 年までのあらゆる形態の児童労働撤廃」を目指すSDG8.7の達成に貢献します。セクター別アクションに定められた、9つの項目に関する取り組みの進捗状況は、定期的に公表していきます。

セクター別アクションは、児童労働に関し、カカオ産業に関わる企業の人権デュー・ディリジェンスの実施を促進し、責任ある企業行動・調達の実現に資する実務的なガイダンスとして活用されることも意図しています。



調達比率

サステナブル・プログラム原料、あるいは認証原料を優先的に調達し、割合を増やす



産地特定とリスク調査

自社製品、サービスに関連する原料のトレーサビリティ、調達元地域を特定し、児童労働のリスクを調査、把握する（サプライヤーや第三者機関を通じた把握を含む）



是正措置

自社のサプライチェーン、原料調達地域において特定された児童労働事案に対して、適切な是正措置を取る（必要なリソースの提供を含む）



情報共有

児童労働に関するリスク、モニタリング、是正に関する情報を共有するためのシステムを構築し、カカオ生産国の政府・自治体、企業・業界、NGO等の情報を統合する



マルチステークホルダー連携

カカオ生産国及び消費国で児童労働を予防、監視、是正する、マルチステークホルダーの連携を推進する



生産地支援

カカオ生産国、自治体における、児童労働の防止、撤廃および、児童労働の根本原因への対応（教育、生活収入の保証等）または関連するその他の課題（森林破壊等）への対応、制度環境、公共サービスの整備・改善の支援



消費者エンゲージメントの促進

消費者に対する児童労働の現状や取り組みの必要性・インパクトの発信により児童労働に取り組む商品の購買を促進



認証制度の強化

児童労働の撤廃に向けた、認証制度の強化



情報公開

取り組みに関する定期的な報告と情報公開





調達比率

サステナブル・プログラム原料、あるいは認証原料を優先的に調達し、割合を増やす

商社・加工業・メーカー・小売業

- サステナブル・プログラム原料、
あるいは認証原料を優先的に調達した企業 9社／10社
- サステナブル・プログラム原料、
あるいは認証原料の調達目標を設定した企業 7社／10社



Point

前年比で各社の調達比率が増加傾向

2021-2022クロップ*から2022-2023クロップにかけ、多くの企業でサステナブル・プログラム原料、あるいは認証原料の調達比率が増加

*カカオ収穫期を表す期間の名称



グッドプラクティス【有楽製菓株式会社】

有楽製菓では、児童労働撤廃に取り組む原料を「スマイルカカオ」と称し、段階的にこのような原料の比率を増やし、2025年までに自社商品に使用するすべてのカカオ原料について、ココアホライズン財団の認証カカオ原料や不二製油(株)独自のプログラム（サステナブル・オリジン）による「児童労働撤廃に取り組む原料（スマイルカカオ）」へ変更することを目標としている。

スマイルカカオの購入を通じて、カカオ原料にプレミアム金を上乗せして支払うことで、児童労働が発生していないかを監視する活動や、カカオ生産者への生産性向上支援、環境への配慮など、様々な活動を支援している。



産地特定とリスク調査

自社製品、サービスに関連する原料のトレーサビリティ、調達元地域を特定し、児童労働のリスクを調査、把握する（サプライヤーや第三者機関を通じた把握を含む）

商社・加工業・メーカー・小売業

- 原料のトレーサビリティ・調達元地域を特定するための対策をとっている企業
※ 自社、サプライヤーや第三者機関を通じた把握を含む 9社／10社
- 自社の原料調達における児童労働のリスクを調査し、把握している企業
※ サプライヤーや第三者機関を通じた把握を含む 9社／10社



Point

企業では児童労働監視改善システム（CLMRS）の導入が進む

児童労働監視改善システム（CLMRS）とは

国際ココアイニシアチブ（ICI）による児童労働モニタリングシステムで、①啓発と監視、②児童労働の特定、③改善支援、④フォローアップのステップを実施



グッドプラクティス【株式会社ロッテ】

主な調達地であるガーナ共和国では、商社および現地のブローカーと協力して産地（カカオ郡）を指定した調達を実施し、同産地で児童労働監視改善システム（CLMRS）を導入。現地に専用倉庫を確保するなどトレーサビリティ情報の把握に努めており、調達するカカオ豆農家の把握を目指している。農園のマッピングも進めており、児童労働リスクに加え森林減少への関与についての確認も推進中。また、これらのトレーサビリティ情報は現地の取引伝票（手書き）に記載されており、ブロックチェーンを用いてトレーサビリティ情報を電子化し、児童労働リスク情報と統合する実証実験を実施中。



是正措置

自社のサプライチェーン、原料調達地域において特定された児童労働事案に対して、適切な是正措置を取る（必要なリソースの提供を含む）

商社・加工業・メーカー・小売業

- 自社で使用している原料調達地における児童労働リスクに対する是正措置を取っている企業

8社／10社



Point

児童労働フリーゾーン（CLFZ）認定制度の構築が進む

児童労働フリーゾーン（CLFZ）認定制度とは

ガーナ政府が児童労働の撤廃に向けて進める政策で、児童労働を予防・是正する仕組みを整備した地域を「児童労働フリーゾーン」として認定する制度。「児童労働モニタリングシステム」が機能している、子どもの保護に関する条例が制定されている、学校環境が整備されている、といった要件を満たしているコミュニティと自治体を広めることを推進している。



グッドプラクティス【江崎グリコ株式会社 × 認定NPO法人ACE】

カカオが抱えている社会課題に配慮した調達を推進するコミットメントを2022年4月に発表。2022年より、立花商店と認定NPO法人ACEと連携し、カカオ農家の生産性と収入の向上や児童労働の撤廃に取り組む事業を実施。

自社で購入するトレーサブルなカカオ豆の一部を生産するガーナの村において、ガーナ政府が進める「児童労働フリーゾーン」の要件に準じて、児童労働を予防・是正する仕組みの構築を進めている。村の住民から構成されるコミュニティ子ども保護委員会（CCPC）によるモニタリング活動や世帯調査を通じて、児童労働を含むリスクのある子どもを特定（2023年は251件）。

そのうち一部の貧困家庭の子どもに学用品の無償支給などの是正措置を提供した。行政と連携した支援体制強化にも取り組む。



生産地支援

カカオ生産国、自治体における、児童労働の防止、撤廃および、児童労働の根本原因への対応（教育、生活収入の保証等）または関連するその他の課題（森林破壊等）への対応、制度環境、公共サービスの整備・改善の支援

商社・加工業・メーカー・小売業

- 自社サプライチェーン上または自社のサプライチェーン以外の活動として、生産国、自治体における、児童労働の根本原因への対応（教育、生活収入の保障等）または関連するその他の課題（森林破壊等）への対応について、カカオ生産地域のコミュニティの社会経済的エンパワーメントのための取り組みを支援、または実施している企業

自社サプライチェーン上

8社／10社

自社のサプライチェーン以外

8社／10社



グッドプラクティス【明治ホールディングス株式会社】

自社独自の産地支援活動「メイジ・カカオ・サポート」として、2006年から世界9か国において、カカオ豆の品質向上への技術支援や農家の生活向上支援を実施。ガーナでの森林保護・回復の取組や児童労働監視改善システムの導入推進、ブラジルでのアグロフォレストリー農法の推進等を実施。2026年度までに「明治サステナブルカカオ豆」の調達100%に加え、農園までのトレーサビリティ、児童労働、森林減少に関して目標を設定し取り組んでいる。



グッドプラクティス【森永製菓株式会社】

2008年より、商品の売上の一部を活用してカカオ生産国の子どもを支援する「1チョコfor 1 スマイル」キャンペーンを実施。2022年度に集まったキャンペーン特別期間の寄付額は約2千万円。寄付金を活用し、エクアドルのカカオ生産地域で、小学校の教室やトイレ、外周壁の建設と設置を支援。ガーナでは、地域住民が児童労働をモニタリングする仕組みの構築や、貧困家庭の子どもの就学や学校の学習環境を改善する支援を実施。両活動は、公益財団法人プラン・インターナショナル・ジャパン、認定NPO法人ACEとの連携で実施。



生産地支援

カカオ生産国、自治体における、児童労働の防止、撤廃および、児童労働の根本原因への対応（教育、生活収入の保証等）または関連するその他の課題（森林破壊等）への対応、制度環境、公共サービスの整備・改善の支援



グッドプラクティス【認定NPO法人フェアトレード・ラベル・ジャパン】

国際フェアトレード認証は、参加する全ての生産者組合において「フェアトレード・プレミアム(奨励金)」を活用して地域コミュニティにおける教育・医療環境、インフラ整備、生産性向上のための投資などを実施。また、認証企業から受領するライセンス料をもとに、カカオ等の生産国各国にて社会経済的エンパワーメントの支援も多数実施。

2023年から5月フェアトレード月間の全国啓発キャンペーンを通して、消費者と生産者を繋ぐ形の生産地支援を実施。一般消費者のフェアトレード関連のアクション（商品購入、SNS投稿、イベント参加）1件につき1円を開発途上国の気候変動基金に寄付として合計207万円(2023年)を送付した。同キャンペーンには176の国内企業・団体が参加し農林水産省・JICAも後援として参画した。



グッドプラクティス【レインフォレスト・アライアンス】

コートジボワールとガーナにおける強靱な生態系の構築と農村カカオ経済の変革などへの6年計画の事業を実施。1. 植林活動による樹木被覆率の向上、2. 3か所の景観地域において、森林保全と荒廃地回復のための効果的かつ包括的な参加型ガバナンスを可能にするため、ランドスケープ管理委員会を設置、3. 農民が気候変動に配慮した農法を実践するための能力と市場インセンティブを構築し、女性と若者のカカオ農業からの利益を増大、4. カカオ農家コミュニティの経済的多様化を促進し、女性と若者の経済的・社会的エンパワーメントのための条件を整える、という4つの主要目標を達成する。この事業では、USID、パートナー企業（コストコ・ホールセール、ネスレ他4社）、農民組合、地元のパートナーと協力し、15,000軒の農家、5万ヘクタールの管理農地への直接的な効果を予定している。



生産地支援

カカオ生産国、自治体における、児童労働の防止、撤廃および、児童労働の根本原因への対応（教育、生活収入の保証等）または関連するその他の課題（森林破壊等）への対応、制度環境、公共サービスの整備・改善の支援



グッドプラクティス【認定NPO法人ACE】

2009年よりガーナのカカオ生産地でスマイル・ガーナ プロジェクト実施中。コミュニティの住民による児童労働モニタリングシステムの構築のほか、貧困家庭の子どもへの教育支援や学校環境の改善、移民労働者など脆弱なカカオ農家の収入向上を目的とした活動を実施。

2022年9月以降は、ウェスタン・ノース州の2村と25集落で活動。児童労働や人身取引からの子どもの保護と子どもへの学用品支給や研修機会の提供、学校教員の能力強化訓練などを郡の社会福祉や教育に関わる行政機関と連携して実施した。



グッドプラクティス【独立行政法人国際協力機構（JICA）】

ACEをパートナーに、ガーナ政府が推進する「児童労働フリーゾーン（CLFZ）」の制度構築、普及に向けた実証実験を支援。ガーナ政府から日本政府への正式な協力要請に基づいて、CLFZの制度改善・普及に取り組む技術協力プロジェクトの実施を準備。また、開発途上国の課題解決に貢献するビジネス展開を目指す企業を支援する「民間連携事業」を通じて、ギニア、マダガスカル、エクアドルにおいて、アグロフォレストリによるカカオ栽培、発酵処理技術の指導によるカカオの品質向上、トレーサビリティ・システムの構築等に関する民間企業の取組を支援。



消費者エンゲージメントの促進

消費者に対する児童労働の現状や取り組みの必要性・インパクトの発信により
児童労働に取り組む商品の購買を促進



グッドプラクティス【森永製菓株式会社】

商品の売上の一部を活用してカカオ生産国の子どもを支援する「1チョコ for1
スマイル」キャンペーンを実施。ウェブサイトや学校へ出張授業などを通じて、カカ
オ生産国の現状や取り組みを消費者へ発信。2023年には、15周年記念商品を
購入した消費者とカカオの国の子どもたちとのメッセージ交換を実施。商品購入を
通して、消費者によるカカオ生産地支援を推進している。



グッドプラクティス【農林水産省×チョコレート・ココア協会】

2023年1月23日～2月2日（金）計5日間にわたり、農林水産省本省北
口別館1階「消費者の部屋」特別展示室にて農林水産省大臣官房新事業・
食品産業部食品製造課主催（協力：日本チョコレート・ココア協会）によるチョコ
レート・ココアの特別展示「おいしいだけじゃないよ チョコレート・ココア」を開催。
原料や製品の展示を行うとともに、パネル等を用いてチョコレート・ココアの持つ健
康効果についてわかりやすく紹介するほか、農林水産省、JICA、NPO法人、日
本企業が行っているカカオの木の植え替えや、児童労働撤廃などの持続可能な
カカオ生産に関する取り組みについてもパネルで紹介。



サステイナブル・カカオ・プラットフォームとしての取り組み

Sustainable Life Media, Inc.主催の、サステナビリティやブランド、イノベーシ
ョンなどに関して学びとネットワーキングを深めるためのグローバルコミュニティ「第7回サ
ステナブル・ブランド国際会議2023」にて、サステイナブル・カカオ・プラットフォームの
運営事務局（JICA）と会員（デロイトトーマツコンサルティング合同会社×認定
NPO法人ACE×有楽製菓株式会社）が登壇。児童労働問題に関する課題の
説明や、プラットフォームとして多様なステークホルダー間の協同を促進し、児童労
働のないカカオ調達に向けた取り組み内容の紹介を行った。

児童労働撤廃に向けたセクター別アクション ー 各社取り組み内容 リンク集 ー



開発途上国における
サステイナブル・カカオ・
プラットフォーム

- 認定NPO法人ACE
 - ・ しあわせへのチョコレートプロジェクト <https://acejapan.org/choco/project>
 - ・ スマイル・ガーナ プロジェクト <https://acejapan.org/choco/smile-ghana>
 - ・ Child Labour Free Zones <https://acejapan.org/info/2022/08/346958>
 - ・ カカオバロメーター <https://acejapan.org/info/2023/02/348170>
- 江崎グリコ株式会社
 - ・ <https://www.glico.com/jp/csr/about/society/supplychain/>
- 株式会社オウルズコンサルティンググループ
 - ・ レポート『児童労働白書2020』
 - ・ 書籍『すべての企業人のためのビジネスと人権入門』（日経BP）
 - ・ 書籍『エシカル白書2022-2023』（山川出版）
- デロイトトーマツコンサルティング合同会社
 - ・ <https://www2.deloitte.com/jp/ja/pages/about-deloitte/articles/dtc/child-labor-problem-solution.html>
- バリーカレボージャパン株式会社
 - ・ [Forever Chocolate Progress Report - Downloads | Barry Callebaut \(barry-callebaut.com\)](https://www.barry-callebaut.com/forever-chocolate-progress-report-downloads)
- 認定NPO法人フェアトレード・ラベル・ジャパン
 - ・ 年次レポート・モニタリングレポート <https://www.fairtrade-jp.org/material/report.php>
 - ・ HP（児童労働について） <https://www.fairtrade.net/issue/child-labour>
- 不二製油株式会社
 - ・ <https://www.fujioilholdings.com/sustainability/cocoa/>
- 明治ホールディングス株式会社
 - ・ 報告書 <https://www.meiji.com/pdf/investor/library/integratedreports-integrated-reports-2023-ja-05.pdf>
※該当箇所は、P45：明治サステナブルカカオ豆の調達比率に関する報告、P48-49：カカオ特集、P59：CLMRS取り組みについて
 - ・ 実績一覧
https://www.meiji.com/pdf/sustainability/procurement/meiji_cocoa_support_program.pdf
- 森永製菓株式会社
 - ・ 目標、実績
<https://www.morinaga.co.jp/company/sustainability/valuechain/procurement.html>
 - ・ チョコ for 1スマイル
<https://www.morinaga.co.jp/1choco-1smile/number/>
- 有楽製菓株式会社
 - ・ <https://www.yurakuseika.co.jp/shfc/>
- レインフォレスト・アライアンス
 - ・ 日本語サイト <https://www.rainforest-alliance.org/ja/>
 - ・ 英語サイト <https://www.rainforest-alliance.org/>
- 株式会社ロッテ
 - ・ <https://www.lotte.co.jp/corporate/sustainability/report.html>
- 独立行政法人国際協力機構（JICA）
 - ・ <https://www.jica.go.jp/activities/issues/governance/platform/index.html>

開発途上国における サステイナブル・カカオ・プラットフォーム 児童労働分科会に関するHP・問い合わせ先

ウェブサイト:

[https://www.jica.go.jp/activities/
issues/governance/platform/index.html](https://www.jica.go.jp/activities/issues/governance/platform/index.html)



JICAガバナンス・平和構築部
「開発途上国におけるサステイナブル・カカオ・プラットフォーム」事務局

sustainable.cocoa@jica.go.jp



開発途上国における
サステイナブル・カカオ・
プラットフォーム